

調査日:2018年12月14日、2019年1月25日、2月22日(9:00~12:00)

科名	和名	12月	1月	2月
カモ科	コハクチョウ		1	
	オカヨシガモ	1	15	5
	ヒドリガモ	51	130	245
	マガモ	672	167	75
	カルガモ	120	66	182
	オナガガモ	404	43	
	コガモ	314	281	133
	ホシハジロ	26	44	22
	キンクロハジロ			3
	ミコアイサ	3	4	
カイツブリ科	カイツブリ	22	33	21
	カンムリカイツブリ	43	36	61
	ハジロカイツブリ	4	3	3
ウ科	カワウ	35	72	555
サギ科	アオサギ	14	26	12
	ダイサギ	7	13	8
クイナ科	コサギ	13	12	2
	ヒクイナ	2		
	バン	3	1	1
チドリ科	オオバン	98	109	121
	コチドリ			1
シギ科	ツルシギ	1		
カモメ科	ユリカモメ	105	43	18
	セグロカモメ	2	1	8
	ニシセグロカモメ	1	1	1
	クロハラアジサシ	8		
ミサゴ科	ミサゴ		1	1
タカ科	トビ	3		
	オオタカ	1		
カワセミ科	カワセミ	3	5	5
カラス科	ハシボソガラス	4	31	5
	ハシブトガラス	6		
セキレイ科	ハクセキレイ			1
外来種	コブハクチョウ	61	55	61
13科	33種	1966	1141	1486

合計は外来種を除いたもの



ヒメガマを食べるオオバン (12月)



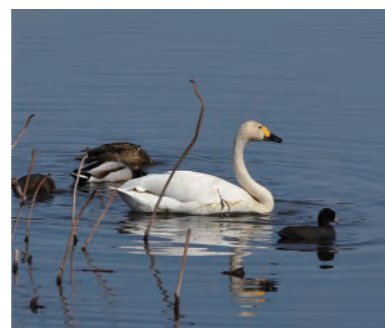
トモエガモ (12月)



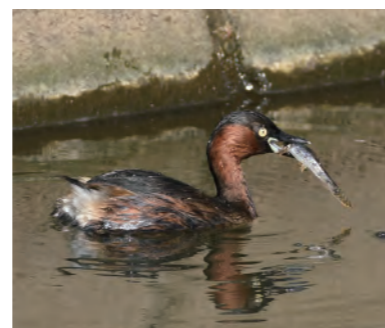
ツルシギ (1月)



交尾中のカルガモ (1月)



コハクチョウ (2月)



ツチフキを食べるカイツブリ (2月)

あびこ鳥だより

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.54

Spring
2019
【春号】



利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、館内整理日、年末年始(12/29~1/4)

	区分	個人	団体
入館料 (当日有効)	一般	300円	240円
	高校生・大学生	200円	160円
3館共通入館料 (1か月有効)*	一般	600円	
	高校生・大学生	400円	

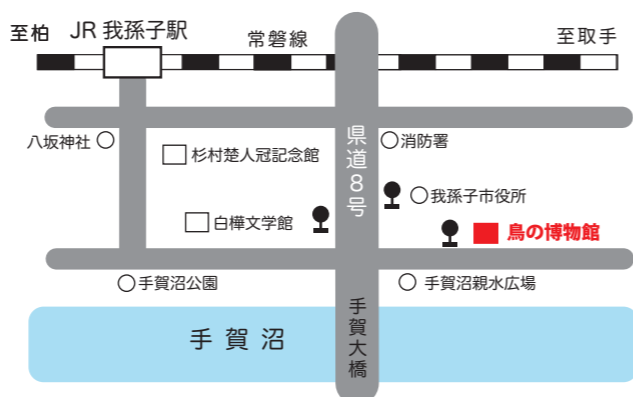
- ・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳等をお持ちの方(付き添い1名含む)
- ・中学生以下の方は入館無料
- *白樺文学館、杉村楚人冠記念館との共通券

●お問い合わせ: 我孫子市鳥の博物館
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3
☎: 04-7185-2212 FAX: 04-7185-0639



交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由
バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館経由のバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館前」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館前」下車
自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)



【特集】

手賀沼のコブハクチョウの個体数変化と手賀沼からの分散例

【最新情報】

鳥の博物館の自然観察会「てがたん」のご案内
ゴールデンウィークの青空に鳥凧を飛ばしてみませんか?

表紙の鳥 ヤマセミ

手賀沼のコブハクチョウの個体数変化と手賀沼からの分散例

コブハクチョウ *Cygnus olor* は大型のカモ科の鳥で、ユーラシア大陸の中緯度地域に広く分布しています。日本国内では1933年に八丈島で野生個体とされる1例の記録がありますが、それ以降の確実な野生個体の飛来記録はありません。そのため、国内の野外で見られるものはほぼすべてが、飼鳥として飼われているものが逃げ出したり、人為的に放されたりした外来生物だと考えられています(国立環境研究所 オンライン)。これまでいなかったところに持ち込まれた生き物は、私たちの暮らしにさまざまな悪影響を及ぼします。手賀沼周辺のコブハクチョウも、田んぼに侵入して稲を食害したり踏み倒したり(写真1)するほか、遊歩道を歩く人が攻撃される場面をよく目にします。また、大量の植物を食べることから、湖岸のマコモやヒメガマなどの植生への影響も心配されます。

手賀沼のコブハクチョウは、1973年に初めて記録され、1990年に初めて繁殖が確認されました(斉藤 1995)。鳥の博物館によって1988年から続けられてきた手賀沼の水面水鳥カウントのうち、コブハクチョウの年ごとの月平均個体数を示したのが図です。1988年には1つがい(1羽)が毎月確認されていたのですが、90年代に少しずつ増加して1998年に月平均10羽に達し、その後も増加を続け、2018年にはこれまでで最も多い月平均49羽に達しました。

巣の数は、1990年に初めてヒナが確認されてから、1994年ごろまでは1か所だけでしたが、最近では年によって変動があるものの、10巣前後が毎年確認されています(表)。

その一方で、手賀沼より下流の千葉県香取市や茨城県神栖市では、近年コブハクチョウの数が増え、繁殖も確認されるようになりました。こうしたコブハクチョウがどこから分散しているのか調べたいと考えていたところ、山階鳥類研究所と東海大学から共同研究の呼びかけがあり、首環標識を装着して調査を行っています。

2018年3月に手賀沼で捕獲と標識を行った若鳥3個体(写真2)は、2018年11月までは手賀沼周辺に留まっていたのですが、そのうち1個体が2019年1月に手賀沼から約43km離れた千葉県香取市佐原で見つかり、2019年3月にはさらに10kmほど下流の香取市小見川に移動していることが分かりました。

手賀沼より下流の利根川周辺で見られるようになったコブハクチョウは、手賀沼から分散したものが含まれているのかもしれませんが。このまま放っておくと、手賀沼は、関東地方や日本の各地にコブハクチョウが分布を広げていく元になってしまうことが危惧されます。人間と鳥とのトラブルがこれ以上増えないようにするためにも、手賀沼のコブハクチョウの個体数を抑制するための施策が望まれます。

引用文献:

斉藤安行(1995)手賀沼におけるコブハクチョウ(*Cygnus olor*)の繁殖記録。我孫子市鳥の博物館研究報告4: 65-68。
国立環境研究所。侵入生物データベース コブハクチョウ。(オンライン) <https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/20010.html>, 参照2019-3-30。



写真1: 水田で稲を食べるコブハクチョウ。6月手賀沼周辺

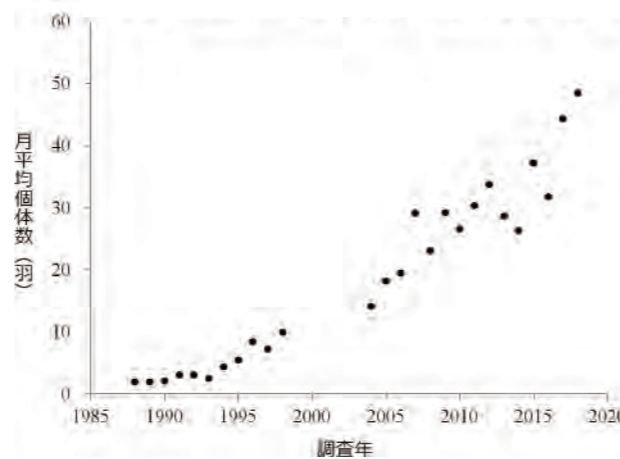


図. 手賀沼におけるコブハクチョウの月平均個体数。年間でのべ個体数を調査回数で割ったもの。1999年から2003年には調査が行われていない。

表. 手賀沼における2013-2018年のコブハクチョウの巣の数

調査年	巣の数		
	上沼	下沼	合計
2013	1	5	6
2014	3	6	9
2015	7	5	12
2016	5	5	10
2017	5	3	8
2018	3	4	7



写真2: 手賀沼で標識され、約50km移動したことがわかったコブハクチョウ「JK61」。
4月 千葉県香取市小見川

鳥の博物館の自然観察会「てがたん」のご案内

鳥の博物館では、企画展「てがたん展ーあびこで楽しむ自然観察ー」を開催しています。鳥の博物館の自然観察会「てがたん」で見られた生き物の観察記録を展示して、自然観察の楽しみをご紹介します。

「てがたん」では毎月テーマ(右表)を決めて、その季節の見どころをボランティアスタッフが案内しながら、博物館周辺を散歩感覚で観察してします。興味のある方は、ぜひご参加ください(詳細はイベント情報をご覧ください)。



てがたんの観察の様子

2019年度のてがたんのテーマ一覧

開催日	テーマ
4/13	鳥のプロポーズ
5/11	あびこの自然の「音風景」
6/8	歌で楽しむ自然観察
7/13	てがたんしりとり
8/10	外来種ってどんな生きもの?
9/14	虫を狙う生きものたち
10/12	樹木と鳥の「持ちつもたれつ」
11/9	モズのはやにえを探そう
12/14	冬の虫探し
2020.1/11	手賀沼のタカとハヤブサのなかま
2/8	暮らしの役に立つ草
3/14	鳥帰る

ゴールデンウィークの青空に鳥凧を飛ばしてみませんか?

鳥凧とは竹ひごや和紙を使って立体的に作る、実際に揚げる事ができる凧です。鳥の博物館友の会の鳥凧同好会では、各自の工夫や共通テーマによる鳥凧の設計・製作を行い、完成品を揚げたり、飾ったりして楽しんでます。

博物館では、鳥凧同好会と共催で、同好会オリジナルのポリ袋を使った鳥凧を作って飛ばすイベントを開催します。ゴールデンウィークの青空に鳥凧と一緒に飛ばしてみませんか?(詳細はイベント情報をご覧ください)



過去のイベントの様子

イベント情報

- 展示
 - 第83回企画展「てがたん展ーあびこで楽しむ自然観察ー」
期間: 2月2日(土)~6月16日(日)
場所: 博物館2階企画展示室
- 講演・室内イベント
 - テーマトーク
日時: 毎月第3土曜日 13:30~14:15
場所: 博物館2階多目的ホール
定員: 先着50人(参加無料)
講師: 山階鳥類研究所所員・鳥の博物館学芸員
 - 鳥凧教室
日時: 5月5日(日) 13:30~15:30
場所: 鳥の博物館2階多目的ホール
定員: 15人(要予約・小学2年生以下は要保護者同伴)
申込み: 4月16日より電話受付(鳥の博物館 04-7185-2212)
 - 鳥のゴムバンドをつくろう
日時: 5月12日(日) 10:00~12:00、13:30~15:30
場所: 鳥の博物館2階多目的ホール
定員: 各回50人(先着順、予約不要、小学生未満は保護者同伴)

- 自然観察会
 - てがたん~自然観察会~
日時: 毎月第2土曜日 10:00~12:00(雨天中止)
定員: なし
集合場所: 博物館入口(予約不要)
 - あびこ自然観察隊①「シギ・チドリに会いに行こう」
日時: 5月6日(月・祝) 9:00~12:00(荒天中止)
集合場所: JR新木駅南口
定員: 30人(要予約)
申込み: 4月16日より電話受付(鳥の博物館 04-7185-2212)
 - バードウィーク手賀沼探鳥会 in Enjoy 手賀沼!2019
日時: 5月12日(日) 9:00~12:00
観察場所: 手賀沼遊歩道
定員: 100名(小学校低学年以下は要保護者同伴)
申込み: 水の館玄関前のテントブースで8:30から受付開始
*当日は鳥の博物館入館無料

自然観察会は高校生以上の方は保険料100円がかかります
館内で行うイベントは参加無料でも入館料が必要です

2019年4月~6月